

令和 6年度 高松市施策評価表（ 5年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	総合評価 B	評価担当 局名 都市整備局 課・室名 交通政策課 電話番号 087-839-2138
	政策	拠点性を発揮できる都市機能の充実		
	施策	拠点性を高める交通網の整備と利用促進		

1 施策の目的

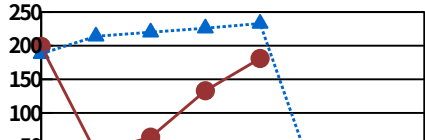
対象（誰、何を対象としているか）

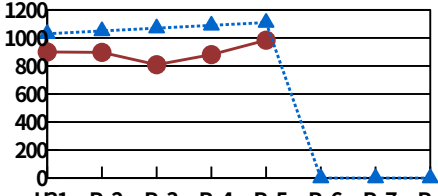
地域経済・産業（人・物・情報）

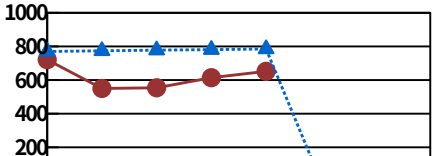
意図（どのような状態にしたいのか）

環瀬戸内海圏の中核都市としての機能を発揮できる陸海空の交通ネットワークの整備と利用促進により、交流人口の拡大、物流の円滑化を促進し、地域経済及び産業の活性化を目指す。

2 施策の成果状況

成果指標①	指標名	単位		実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
				3年度	4年度	5年度	5年度	5年度	
	高松空港の利用者数	万人		64	133	181	233	233	 目 標 達成度 (達成度) 77.7% 23点
	成果状況／達成度評価				成果状況の推移				
	新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類に移行したことにより、国内線の利用者数が堅調に推移したことに加え、国際線（ソウル線・台北線・香港線）の通年運航や、増便等により、前年度比135%となったが、目標を達成することができなかった。								

成果指標②	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標の うごき
			5年度	4年度	3年度	5年度	5年度	
	高松港に入港した外国貿易船の年間延べ純トン数	千純トン	809	881	984	1,110	1,110	
	成果状況／達成度評価			成果状況の推移				
	平成9年に韓国釜山航路が開設されて以降、順次航路開設が進み、現在4航路週7便の海上輸送網を維持しているが、目標を達成することができなかった。 (中国航路2便、韓国航路4便、フィーダー航路1便 計7便)							

成果指標③	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標の うごき
			5年度	4年度	3年度	5年度	5年度	
	市内ＪＲ駅の乗降客数	万人	554	614	652	785	785	
	成果状況／達成度評価			成果状況の推移				
	平成１９年度を基準年度として、毎年一定の利用者増（累積）を見込み、目標として掲げている。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、目標を達成することができなかった。							
						目 標 達成度		
						(達成度) 83.1%		
						24点		

3 市民満足度調査の状況

	3年度	4年度	5年度	
満足度	28位 (28.0%)	53位 (18.7%)	48位 (22.9%)	
不満度	10位 (22.9%)	2位 (33.7%)	3位 (29.9%)	
重要度	27位 (71.9%)	27位 (67.9%)	25位 (71.2%)	

4 施策に係るコスト

	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）
事業費	553,908	558,690	651,437	439,757
人件費	16,233	15,118	18,366	20,925
トータルコスト	570,141	573,808	669,803	460,682

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題

高松空港においては、コロナ禍前の需要への早期回復を図るため、高松空港振興期成会の一員として、高松空港株式会社と連携し、今後を見据えた対応が必要である。

高松港においては、4航路週7便という海上輸送網を維持しているが、今後の航路拡充・物流量の増加に向けた地域経済の活性化に取り組む必要がある。

また、四国新幹線の実現を目指し、関係機関との連携により、整備計画への格上げに向けて取り組む必要がある。

施策推進の方向性

高松空港の航空路線については、航空ネットワークの拡充に向けて、チャーター便の誘致促進など、高松空港振興期成会の一員として、高松空港株式会社と連携して取り組む。

高松港の交通・物流拠点性の向上については、事業主体である香川県と連携し、より効率の良い施設整備及び運営に努める。

四国新幹線の整備計画への格上げに向けて、関係機関と連携し、国等への要望活動とともに、市民意識の醸成に努める。

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

[illegible]

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

[illegible]